

南京徳科碼(TACOMA)半導体サイエンスパークプロジェクト起工式

南京經濟技術開發区において
地方記事：龍虎網（南京）2016年6月9日

中国記事原文 URL：

http://siteapp.baidu.com/webapp/www.longhoo.net/?l=3&ref=www_iphone&order=1&dict=22&tj=www_normal_1_0_10_title&cltj=cloud_title&host=www.longhoo.net&src=http%3A%2F%2Fyuanqu.longhoo.net%2F2016%2Fyqdt_0608%2F122357.html&from=groupmessage&isappinstalled=0#m/http://yuanqu.longhoo.net/2016/yqdt_0608/122357.html

6月8日午後南京經濟技術開發区において南京徳科碼(TACOMA)半導体サイエンスパークプロジェクトの起工式が挙行された。江蘇省委員常任委員、南京市委員書記である黄莉新氏、南京市長繆瑞林氏など中国側から要人が出席。イスラエル側から駐中国イスラエル大使、馬騰氏(Mr.Matan)など外国の要人が招待客として参加した。プロジェクト投資総額は30億USドルで主に8インチウエハー製造用に2棟、12インチウエハー製造用に1棟、それらと同時進行でパッケージの検査・測定棟、設備製造棟、技術設計センターとそれらに関わる生活施設も備える。



写真：南京經濟技術開發区での南京徳科碼(TACOMA)半導体サイエンスパークプロジェクトの起工式

南京徳科碼(TACOMA)半導体サイエンスパークは香港徳科碼科技有限公司とイスラエルの半導体会社のタワージョズによる共同投資により建設される。香港徳科碼(TACOMA)科技有限公司董事長の李睿為氏の説明によると、今回のプロジェクトと現在の中国国内にある大部分のIC回路企業とは異なりIDMモデルを採用しIC設計、

ウエハー生産、パッケージ検査・信頼性試験、製品の販売など IC 産業の各々の基幹部分を繋げて一体化する。知的財産権の CIS 生産技術は自社で開発し自社ブランドの CIS 製品を設計、生産、販売する。IC 設計関連は徳科碼(TACOMA)が日本の東芝、富士通などゆかりのある力を取り入れて、その設計チームが IC 設計と技術開発の責務を担う。ウエハー生産関連はアナログ回路生産として世界一を誇るイスラエルの半導体会社タワージャズが生産管理と運営を行う。パッケージ検査関連は今後最先端な検査棟をサイエンスパーク内に建設する。李睿為氏(TACOMA 董事長)はプロジェクトが完成すると中国国内では以下のような初めての企業となるという見方を表した--自社ブランドとして知的財産権を持つアナログ IC とイメージセンサー、チップのパッケージ化までできる IDM(自社内で行う半導体統合メーカー)会社として。これにより南京市通信技術産業のコア部分を補うだけでなく今後の通信技術の新境地を開くとされる CIS 応用産業界を結び中国の CIS 産業自体の空白部分をも埋めることになる。



写真：プロジェクト役員と招待客

イスラエルの半導体メーカータワージャズ、グローバルマーケット副総裁 Erez Imberman によると今回のプロジェクト向けに生産技術を徹底的に提供する予定であり、世界で 6 か所の工場運営経験と強力な研究開発能力に加えてトータルな生産工程向けの最先端管理体制を行う。南京徳科碼(TACOMA)サイエンスパークはイスラエルの半導体メーカータワージャズが 2011 年上海事務所を開いた後中国で初めて共同投資を行う工場としてマイルストーン的な意義がある。中国工場の建設は今後タワージャズの半導体と日増しに拡大する中国顧客との緊密なビジネスパートナー関係をより促進させることになる。そしてその中国顧客向けにより能率的なサポートを行い中国市場の発展に全面的に推進させていく。



写真：起工式(くわ入れ)作業現場



写真：

香港德科碼(TACOMA)科技有限公司、董事長：李睿為氏(中央)より江蘇省委員常任委員、南京市委員書記：黄莉新氏(右手前)へプロジェクトの説明

南京経済技術開発区関連の責任者によると南京開発区における IC 産業は既に初期体系ができており発展情勢は良好である。現在開発区には 20 社余りの IC 関連企業があり IC 産業を隈なくつなげる一部が基幹部分になり産業チェーンを形成している。IC

設計関連は星焱微電子、宇都通迅、翔芯電子などひとつの IC 設計・サービス企業群が存在し業界から 100 人余りが集まる。陳星弼氏(中国科学院院士)、王俊峰氏(千人計画専門家：海外高層次人才引進計画)、单毅氏等名高い専門家とその道のトップランナーにより製品設計にあたり、高効率 IC、フラッシュメモリー、ギガヘルツ無線通信等を含み既に 30 余りの特許申請を行っている。ウエハー生産関連は傲迪特半導体が 5 インチの非記憶型半導体チップ生産に関わり、徳科碼(TACOMA)半導体サイエンスパークの第一期プロジェクトの主要製品である電源管理と MEMS チップとなる 8 インチウエハー製造棟の建設が間もなく始まる。パッケージの検査・信頼性試験と半導体設備、材料生産関連は中唐電子がおり、長江微電子と高光半導体他とは現在プロジェクトに関して商談中である。今後開発区としては徳科碼(TACOMA)サイエンスパークの建設を契機に新機軸を打ち出すパワーと市場競争力を兼ね備えた IC 企業を取り込む大原動力となり、IC 業界の発展を促進させる公共サービスシステムを地方政府の財政と政策環境を整備する。IC 産業体系の健全化、開発区の IC ブランドを作り出し IC 産業の発展が開発区の電子通信産業の一つの大きな光であり柱でもある。

そして半導体バレー(シリコンバレーに対して)の建設は知的財産権のコアを持ちそれを対外的にディスプレイする拠点になる。

徳科碼(TACOMA)サイエンスパーク南京に進出

中国 IC 産業の空白部を埋める

人民日報ネット中国語版:2016年6月9日より全文訳

<http://js.people.com.cn/n2/2016/0609/c360301-28480058.html>

30億USドルの投資による南京徳科碼(TACOMA)半導体産業は8日起工式(鍍入れ)を挙行了。ウエハー生産、パッケージ検査、製造と販売一体体制で自社ブランド開発に伴いイメージセンサーチップの設計及び生産を行い、中国における産業の空白部分を補う。中国では台積電(TSMC)に続いて南京のIC産業もマイルストーン的なプロジェクトになる。

ICは通信技術の中核でありグローバルな技術競争として製造業の高度な位置づけにある。チップ1元(人民元)当たりの価値は電子通信産業の10元の価値がありGDPとして100元の価値をもたらす。

国務院はIC産業の発展要綱を発表しており1200億元のIC基金が成立。

これにより世界のIC産業技術の資金流入が我が国に向かって加速される。

これに先立ちグローバルIC企業として先頭を走る台積電(TSMC)は30億USドルの投資契約を締結して南京江北新区に進出している。

今回徳科碼(TACOMA)産業がこれに次いで南京に進出することになりIC産業の初期形成の関連性を示している。

徳科碼(TACOMA)サイエンスパークは香港徳科碼(TACOMA)科技有限公司とイスラエルのタワージャズの共同出資により建設され、8インチウエハー用に2棟、12インチウエハー用に1棟が建設予定されている。

タワージャズはイスラエルの半導体事業の運営者会社であり世界一のアナログICの製造サービス会社である。サイエンスパークではパッケージの製品検査・信頼性試験棟、設備の製造棟、設計センターを同時に建設予定であり日本の東芝、富士通などゆかりのある設計部隊を取り入れてIC設計と技術開発の職責を担う。イメージセンサーのICは携帯電話、デジタルカメラ、タブレット、スマート都市監視コントロール、ロボットの視覚分野など幅広い汎用性があり大きなマーケットが広がっている。